令和8年8月　教育委員提案

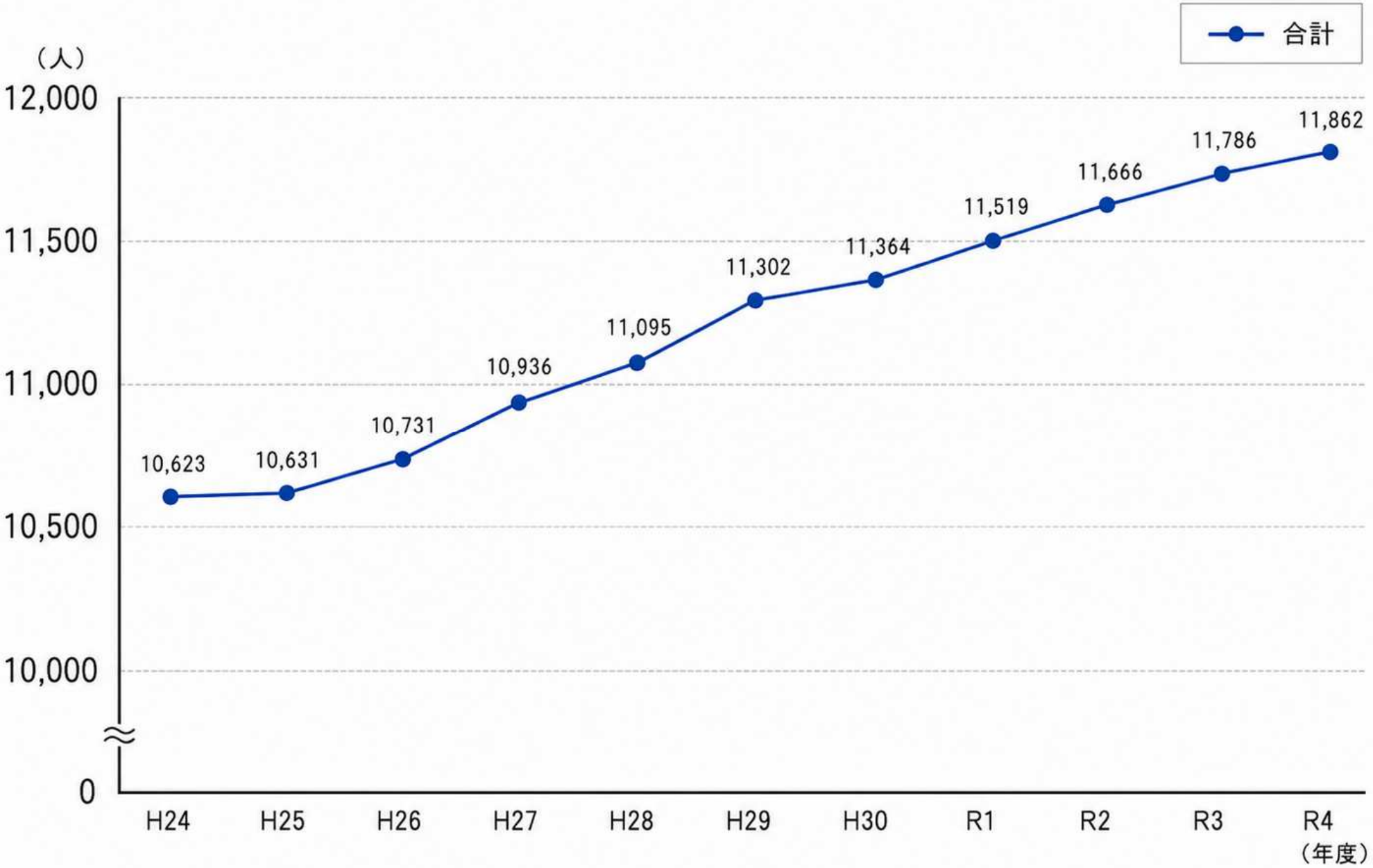
人口動態と学校施設のプランニングについて

戸田市教育委員会事務局
教育総務課・学務課

１．児童生徒数の推移（H24～R4）

※各年度5月1日時点
児童生徒数合計

市内の住宅開発を背景に本市の小学校児童数と中学校生徒数は、増加を続けてきた。



２．児童生徒数の増加に対する対策

児童生徒の教育環境を守るため、市長部局と連携し対策を進める。



急激な児童生徒数の増加に伴う教室不足を防ぎ、教育環境を守る体制づくり

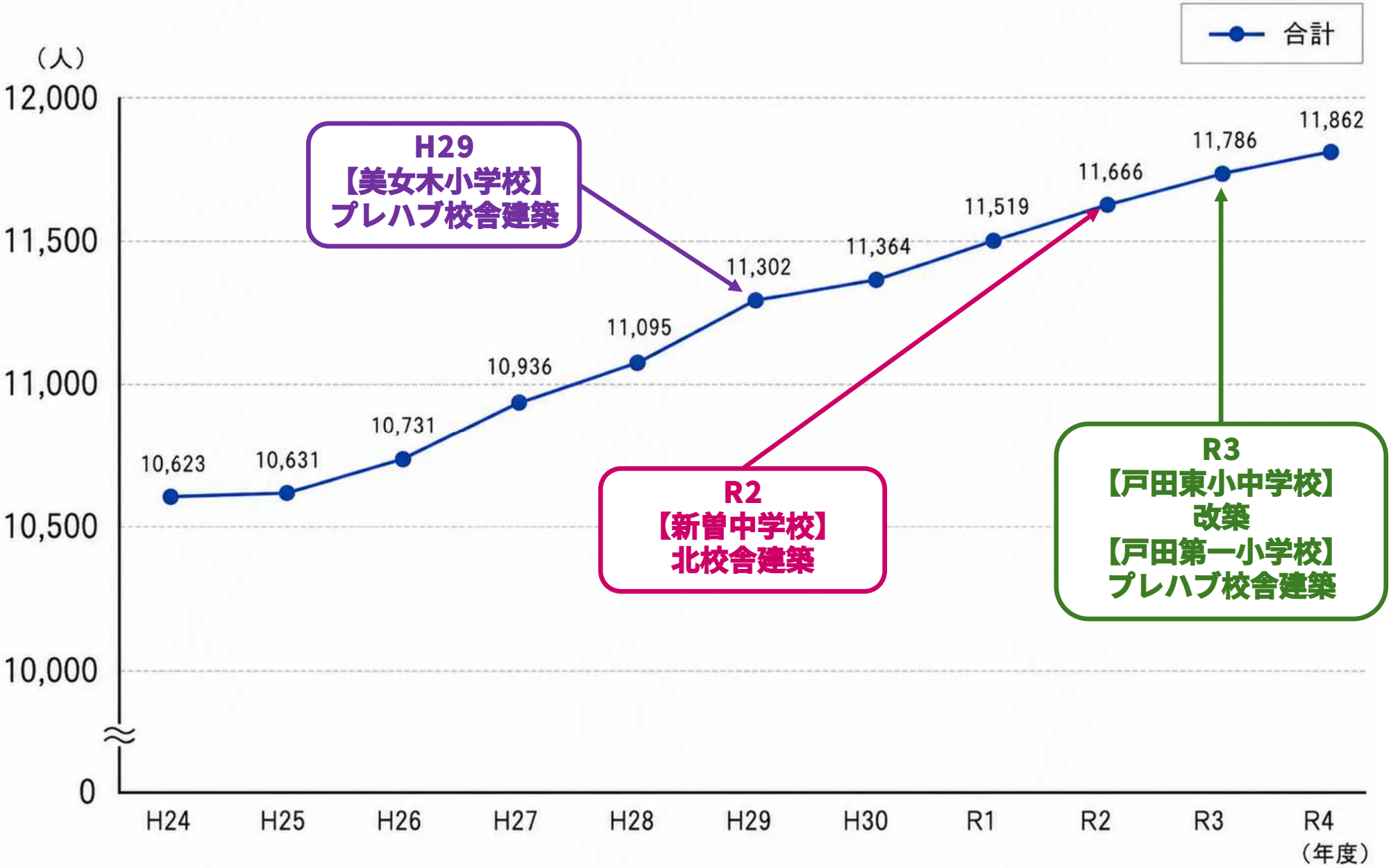
●戸田市児童・生徒増対策検討委員会
平成１７年に設置し、教育委員会事務局と市長部局が連携し、児童生徒数の推計や住宅開発の動向を共有し、教育環境を守るための対策を検討する。

●戸田市健全な教育環境確保のための住宅開発抑制に関する指導要綱
令和元年に策定し、一定規模以上の住宅開発を行う事業者へ事前協議等を求める。

３．校舎の増改築工事の実施状況

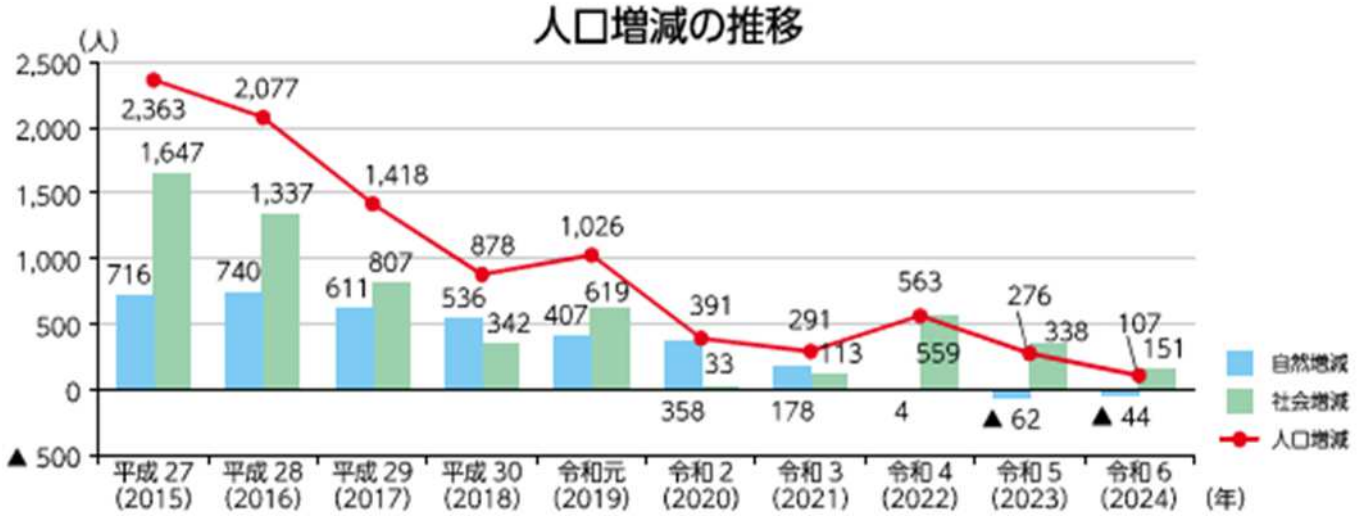
※各年度5月1日時点
児童生徒数合計

各学校の教室不足に対応するため、手法を工夫しながら校舎整備を進める。



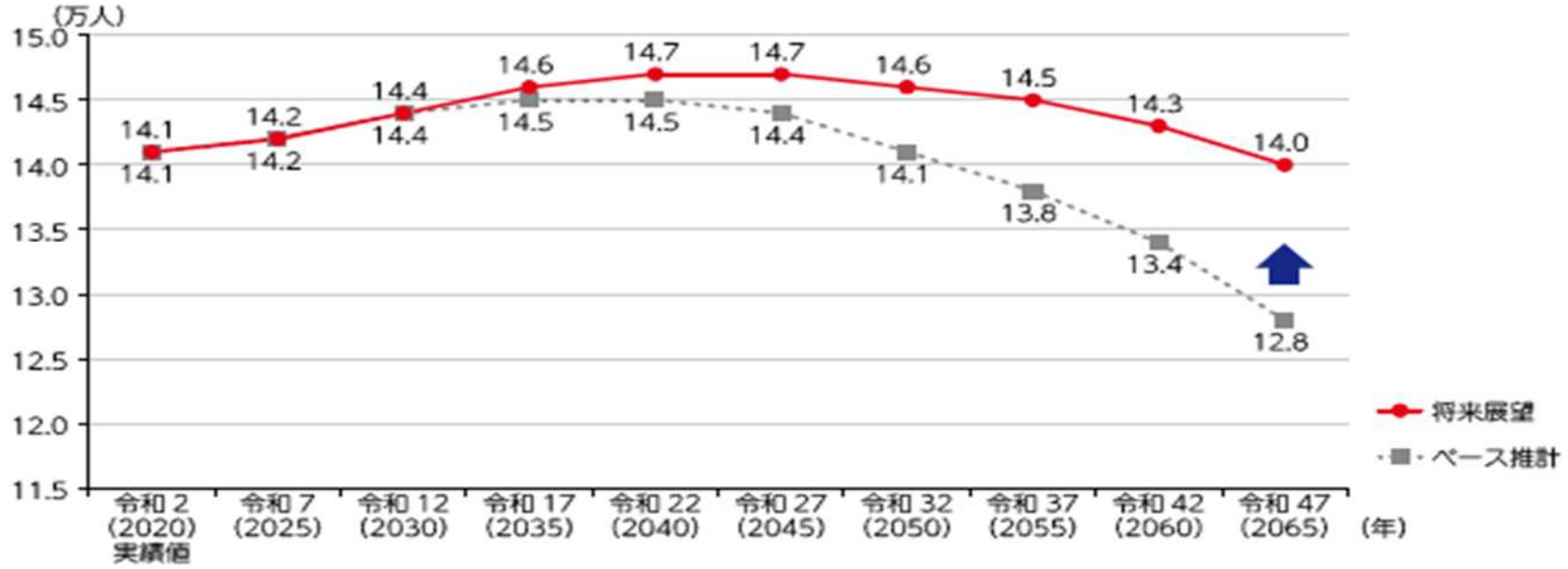
４．最新の人口動態

令和8年度から始まる第5次総合振興計画後期計画における人口の将来展望



※自然増減(出生－死亡数)は
令和５年度から減少に突入

※社会増減(転入－転出数)も
微増まで低下しつつある



５．大規模マンションの建設状況

地価・住宅価格の高騰や建設用地の不足などによりファミリー向け住戸が減少する。



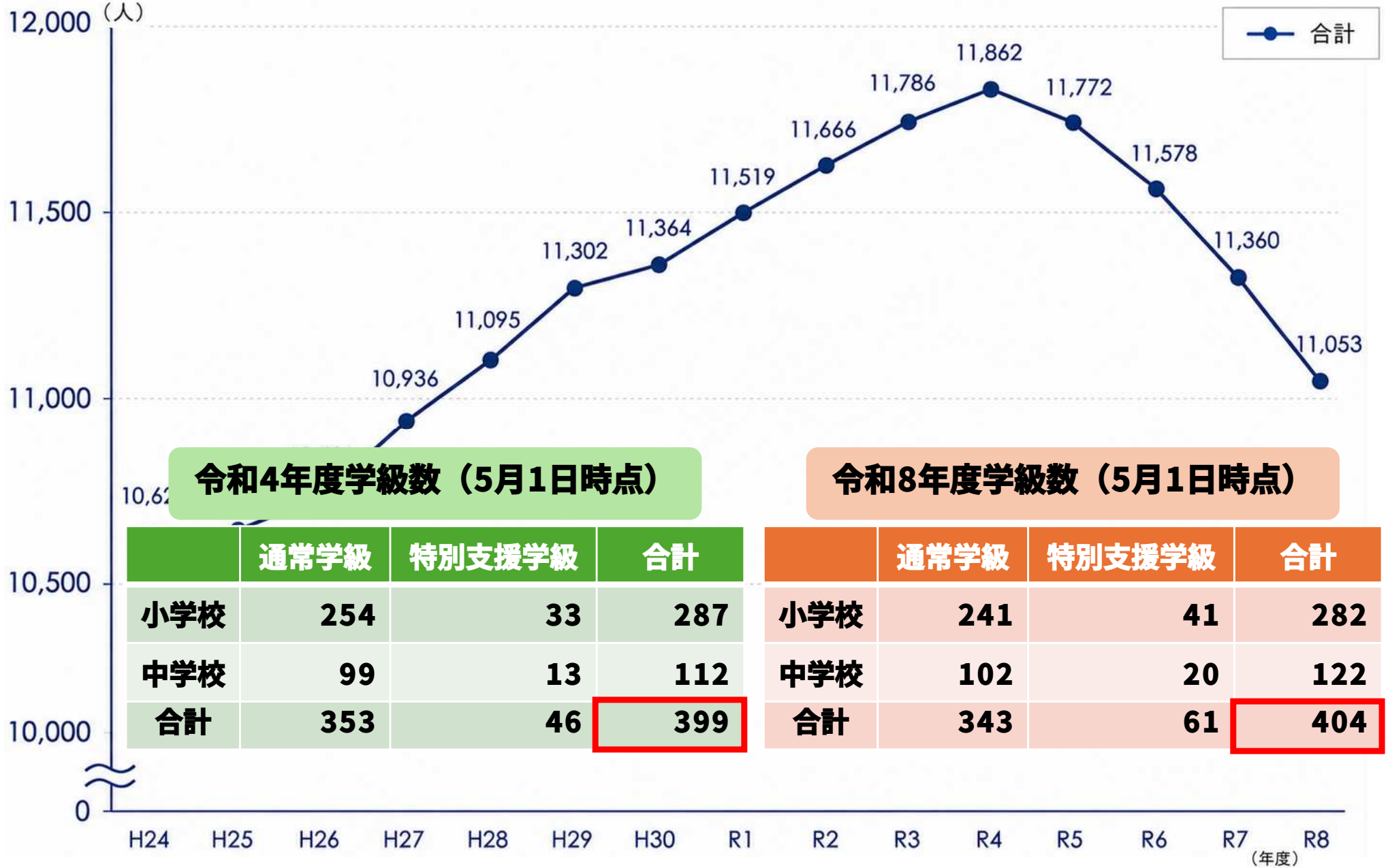
近年のマンション建設は戸数が中規模程度に移行傾向

※[R-]…建設年度
○内の数字…戸数

６．最新の児童生徒数の推移（H24～R８）

※各年度5月1日時点
児童生徒数合計

児童生徒数は令和4年度をピークに減少を始めるものの、学級数は減少していない。



令和4年度学級数（5月1日時点）

	通常学級	特別支援学級	合計
小学校	254	33	287
中学校	99	13	112
合計	353	46	399

令和8年度学級数（5月1日時点）

	通常学級	特別支援学級	合計
小学校	241	41	282
中学校	102	20	122
合計	343	61	404

７．学校に求められる様々な機能

子供たちの多様化や社会情勢の変化により、様々なニーズへの対応が求められている。

さわやか相談室



戸田東中学校の様子

ぱれっとルーム/きゃんばすルーム

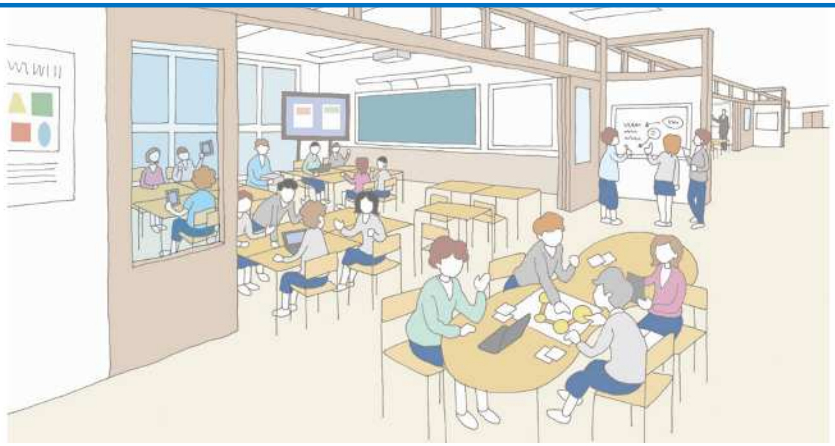


日本語初期指導教室



喜沢小学校の様子

多様な学習活動への柔軟な対応



出典「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」（文部科学省）

８．教育的ニーズの変化の状況

教育的ニーズの多様化により、必要な教室・機能が変化している。

これまで	これから
40人学級	35人学級
一律的な学校教育	個別最適な学びの推進
通常学級中心の学級編成	誰一人取り残されない教育

学校に求められる新たな機能・スペース

- 35人学級
- 特別支援学級
- 通級指導教室
- ぱれっとルーム（小学校不登校支援）
- きゃんばすルーム（中学校不登校支援）
- 日本語指導教室

９．時代の変化に対応する学校施設のプランニング

“児童生徒数の減少 ＝ 教室需要の減少” とは限らない。

面積の減少要素

- 児童生徒数の減少
- 公共施設の総量規制

面積の増加要素

- ３５人学級の導入
- 個別最適な学びの推進
- 誰一人取り残されない学びの推進
- ＩＣＴ機器の増加
- 防災機能、地域開放等



学校ごとの適正規模化

学校施設は、児童生徒数だけではなく、
教育ニーズや地域特性を踏まえて計画する
時代となっている。